

今日のファッションを歴史の中から照射

キーワード：服飾の歴史 色のイメージ 文様と紋章 異国趣味・レトロ趣味

人間文化創成科学研究科 文化系 西洋服飾論 徳井淑子

E-mail: tokui.yoshiko@ocha.ac.jp

URL: <http://www.aesthe.ocha.ac.jp/~hp/tokui/> TEL:5978-5802

フランスの中世と近代を中心としファッションの営みを通して人々の感情生活あるいは感性を追究しています。過去のモードはさまざまなかたちで現代に生きています。歴史の流れの中から現代モードを照射すれば新しい創作の視野が開けます。



1813年ロンドン刊の情報誌に挟まれたファッション・プレート(左)は、この頃の古代ギリシャ調の衣裳を示しています。歴史に繰り返された古代調は現代デザインにも生きています。

紀元2000年の女はズボンをはくと、1899年にグラン＝カルトレが予想した女性像です(右)。衣服はジェンダーをつくり、性差の文化を映します。



15世紀初めのフランス王シャルル6世は黒い衣に標語と虎(犬ではない)の文様を付けています。今日に至る黒服の始まりです。虎は文学に取材された彼の紋章の一つ。

講演記録：「ヨーロッパの色彩シンボリズム」「モードと色の中世史」「歴史が紡ぐ感性：色と柄のイメージの東西」
「ジュエリーとの共演：肖像画にみるヨーロッパのモード」「ジュエリーと護符」「ヨーロッパの写本美術」